

2024年3月31日 復活祭・イースター礼拝説教

「よみがえりの新たな息吹」(ヨハネ20章1～18節)

○ヨハネ20章11～16節について

「(マリアは) こう言いながら後ろを振り向くと、イエスの立っておられるのが見えた。しかし、それがイエスだとは分からなかった。」(14節)

キリストの葬られた墓の外で、マグダラのマリアは泣きながら、悲しみに暮れていると、そこに、よみがえられたイエスが〈よき知らせ〉を届けに来られた。

「イエスが、『マリア』と言われると、彼女は振り向いて、ヘブライ語で、*『ラボニ』と言った。『先生』という意味である。」(16節) *ほかにも「わが主」と訳せる言葉

※よみがえられた救い主は、きょうも傍らに立って、あなたの名を呼ばれる。

今日のみことば：ヨハネ20章18節

「マグダラのマリアは弟子たちのところへ行って、『わたしは主を見ました』と告げ、また、主から言われたことを伝えた。」

神の子イエスは、ご自身の姿に気づいたマリアの〈眼の前〉に立ち、語られるみことばをとおして、彼女のうちに〈よみがえり〉を信じる心を形作られた。

※あなたがキリストを見るためなら、この方は、どんな助けも必ず与えられる。

*聖書翻訳本文は日本聖書協会『聖書 新共同訳』からの引用です。